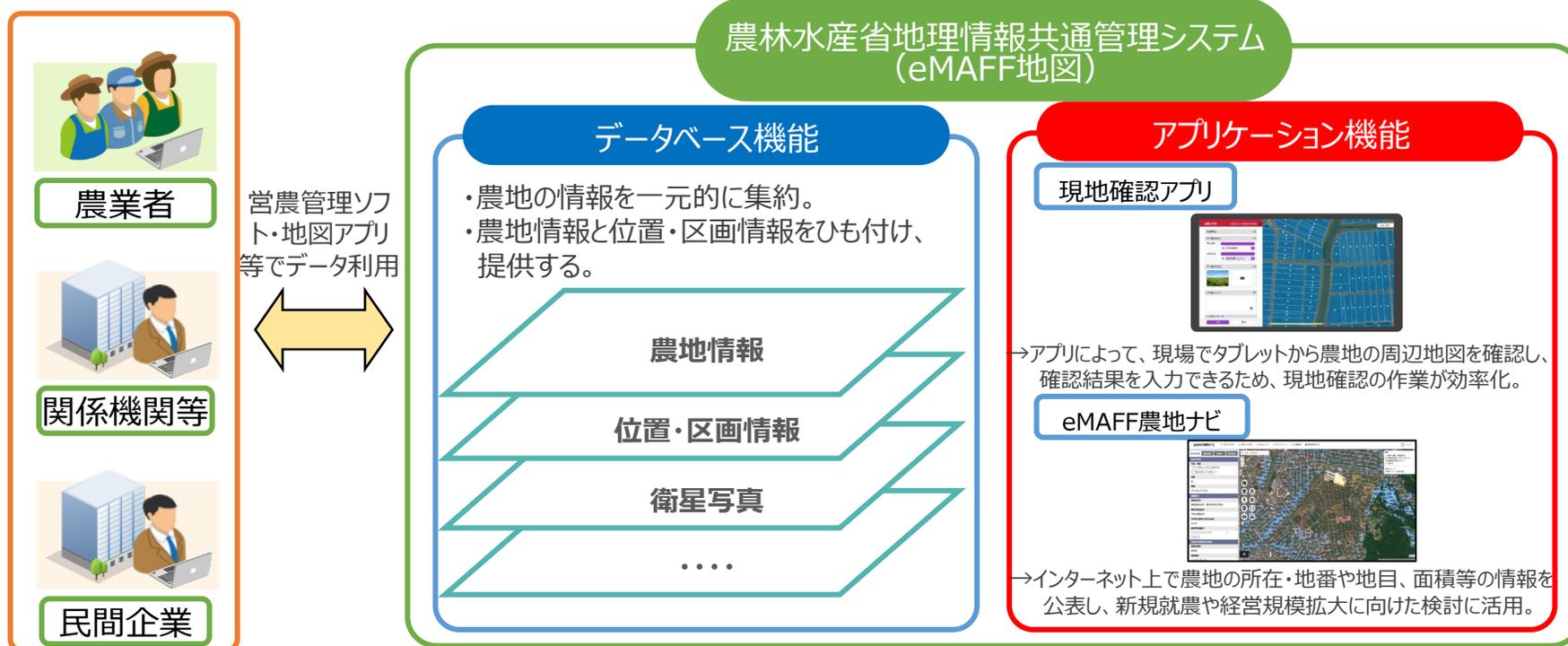


## 2 (3) 農林水産省地理情報共通管理システム (eMAFF地図)

### ① eMAFF地図の概要

- 農林水産省地理情報共通管理システム (**eMAFF地図**) は、農地関連業務の効率化・省力化を図るため、
  - ① 農地情報をデジタル地図として公表し、検索機能もある**eMAFF農地ナビ**
  - ② 紙の地図を用いて行われてきた農地の現地確認を、タブレット端末 1 台で実施可能とする**現地確認アプリ**等の機能を持つシステムであり、令和 3 年度から開発を進め、**令和 4 年度より運用**。
- 食料・農業・農村基本計画 (令和 7 年 4 月 11 日閣議決定) において、DX推進の一環として、
  - ① 地域計画における目標地図で示された農地利用意向情報の活用・デジタル化の促進
  - ② 現地確認業務の効率化等に向けて、**eMAFF地図の利活用の向上を図る**旨を記載。



## 2 (3) 農林水産省地理情報共通管理システム (eMAFF地図)

### ② eMAFF農地ナビの概要

- eMAFF農地ナビは、農地台帳及び農地に関する地図の情報を一般公開するWebサイトで、年間のPV数 (ページビュー数) は約2,000万件。
- サイトでは、地目・面積や権利設定のほか、衛星写真で農地の状況などを公表。  
※衛星写真は、原則年次更新
- また、サイトで公表している情報はダウンロードでき、幅広く活用可能。
- これらの情報はWAGRIにも掲載済みであり、WAGRIのAPIを介して、民間サービスに取込み、営農活動に活用可能。

eMAFF農地ナビ

住所から探す 条件から探す お気に入り ダウンロード 注意事項 農地更新状況

メニュー

基本的事項 表示設定 色分け 絞り込み

基本的事項

所在地・地番

〇〇〇県△△市□□〇〇〇-XX

☆ 農地をお気に入りへ登録

地目

田

面積

595.00m<sup>2</sup>(5.95a)

地域区分

農振法区分

農業振興地域内・農用地区域内(青地)

都市計画法区分

市街化調整区域

所有者の農地に関する意向

非公表

耕作整理番号

〇〇〇〇〇〇〇〇 7

色分け

貸借権等権利設定の内容

権利の種類

賃借権

存続期間

2015年02月27日 ~

- ・誰でも農地情報の閲覧が可能
- ・農地毎に地目・面積や権利設定の状況などを確認
- ・筆の色分けや絞り込み機能によって農地を探すことも可能
- ・高解像度の衛星画像を1年に1回更新しており、農地の把握にも活用

## 2 (3) 農林水産省地理情報共通管理システム (eMAFF地図)

### ③ eMAFF農地ナビの活用事例① (農地関連業務)

- eMAFF農地ナビは、農地の情報や位置・形状などをデジタル化して公開することで、行政職員の窓口業務の負担を軽減。
- eMAFF農地ナビで公開している農地データ (農地一筆毎の地番・緯度経度等) をGoogleマップに取り込むと、農地へのナビゲーション機能や現地確認結果のメモ・写真等の入力に活用可能。

#### 市町村・農業委員会の活用事例

##### 窓口業務の軽減

- 規模拡大を志向する農家等が窓口に来庁しなくても農地の情報収集が可能となり、窓口業務の負担が軽減
- 衛星画像の活用により、相談対象の農地の特定が容易に

##### 農地の利用状況調査の業務軽減・効率化

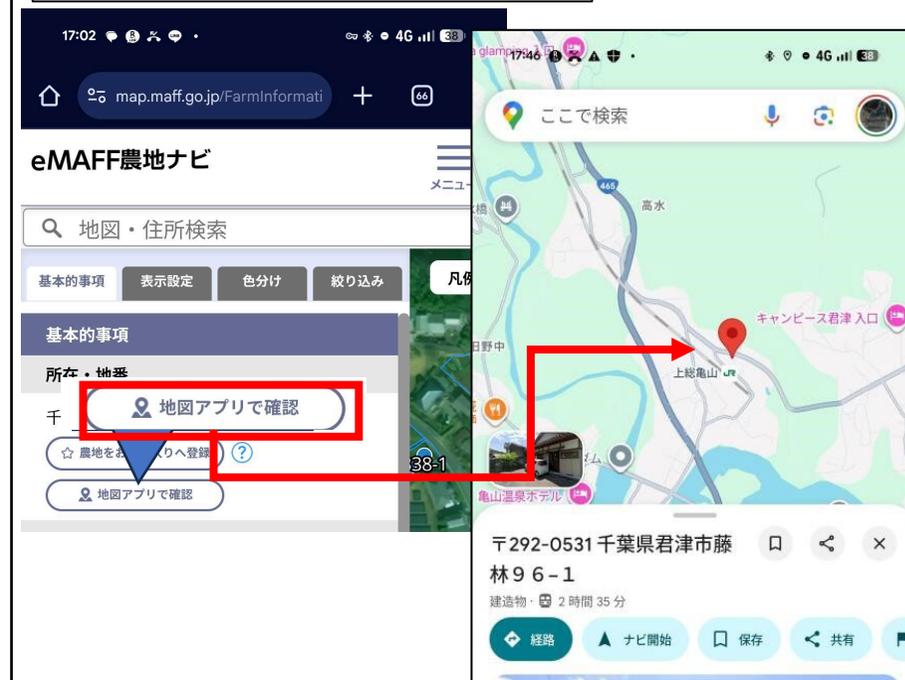
- eMAFF農地ナビの衛星写真から遊休農地の可能性がある農地を事前に抽出することで、農業委員会が行う農地パトロール(農地の利用状況を現地確認する業務)を省力化
- 現地確認では見落としがちな木に囲まれた場所や道がなくアクセス困難な場所も把握可能

#### 農業共済組合の活用事例

##### 農地訪問の業務軽減・効率化

- 全国の農業共済団体へのアンケートによれば、約8割が、加入手続や損害評価の際にeMAFF農地ナビを活用することで、圃場の所在や面積の確認を効率化
- 農地ナビの位置情報をGoogleマップに取り込み、同マップの機能を活用。巡回ルートの作成や現地でのデータ入力作業もタブレットで容易に

スマートフォン版eMAFF農地ナビでは、マップアプリへの連携機能を具備



農地は、農地台帳では一筆ごとに「地名・地番情報」を付与しているものの、「緯度・経度情報」を付与していないことからGoogleマップ上で特定の農地の場所を表示することができない⇒eMAFF農地ナビ上のひも付けデータを取り込むことで、ナビ機能の利用が可能

## 2 (3) 農林水産省地理情報共通管理システム (eMAFF地図)

### ④ eMAFF農地ナビの活用事例② (地図データと他システムの連携)

○ eMAFF農地ナビ上で表示される農地情報は、ダウンロード機能やWAGRI(農業データ連携基盤)を通じて民間のGISサービスや営農支援アプリ等に連携され、農地管理や営農指導の効率化に活用。

#### 農地ナビのダウンロード機能を活用した事例



JA全農 : Z-GIS

eMAFF農地ナビの情報を活用し、  
地番情報付きの圃場ポリゴンを作成することで  
○Z-GIS上で衛星画像解析機能を活用し、  
農地の生育状況や地力の可視化が可能  
○共同防除や地域計画の基礎資料として利用可能

#### WAGRI※を活用した事例

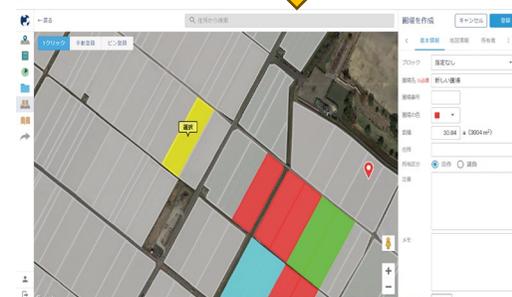


※ 気象や農地、土壌等の農業データや、生育予測、病害虫診断等の農業向けシステムの連携・共有・提供機能を有するデータプラットフォームであり、農研機構が運用。各種データやプログラムをAPI(複数のアプリケーション等を接続(連携)するために必要な仕組み)として提供。



ESRIジャパン(株) : ArcGIS

eMAFF農地ナビの情報を現地  
確認のルート設計や巡回計画の  
策定に活用。



(株)クボタ : KSAS

eMAFF農地ナビの情報を活用し、圃場登録・播種・施肥・防除・収穫などのスケジュールを最適化

→ eMAFF農地ナビのデータを活用することで、事業者が独自に農地情報を収集・作成する手間が削減  
農地の面的な管理の効率化に寄与

## 2 (3) 農林水産省地理情報共通管理システム (eMAFF地図)

### ⑥ 現地確認アプリの概要及び活用事例

- 現地確認アプリは、**農業委員会の現地確認業務を効率化するためのアプリ**。
- 本アプリにより、現地確認時に必要だった紙地図、台帳・調査野帳・デジカメの持参は不要となり、タブレット一つで現地確認が可能。
- 入力内容が、農業委員会が農地台帳を管理するシステムに自動連携され、台帳更新の手間が削減。
- 携帯電波の圏外の地域でも利用可能となるオフライン機能を具備。

#### 農業委員会の事例①

農地パトロールに2か月の作業時間



75%削減!!

現地確認アプリの導入により、圃場の特定が容易になり、作業時間が2週間程度に

#### 農業委員会の事例②

民間の衛星データ解析技術を導入

衛星データ

×

AI解析

×

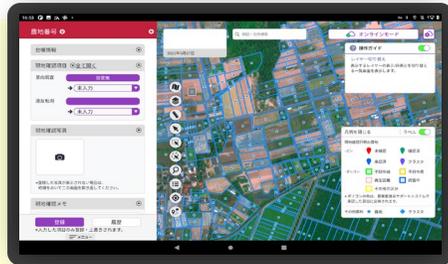
eMAFF地図データ

耕作が確認された農地を  
現地確認の対象外に

+

農地の現地確認業務を行う  
農地利用最適化推進委員全  
員が現地確認アプリを使用

ピンを刺した農地に限定  
し、現地確認



- アプリで農地情報を更新したことのある農業委員会 約4割
- アプリにログインした実績がある農業委員会 約7割

# (参考)eMAFF地図における農地台帳と位置参照データとのひも付け

- Google Map等のデジタル地図で不動産の位置を特定するためには、当該不動産に「緯度・経度情報」を付与する必要。  
農地については、農地台帳では一筆ごとに「地名・地番情報」を付与しているものの、「緯度・経度情報」を付与していないことから、この地名・地番情報だけではデジタル地図で位置を特定することはできない。
  - eMAFF地図では、農地台帳の「地名・地番情報」と「緯度・経度情報」をひも付けたデータを整備することにより、eMAFF農地ナビ(デジタル地図)上で農地の位置の特定が可能。また、ひも付けデータを他のアプリケーションに取込むことで、そのアプリの機能(目的地へのナビゲーションやデジタル地図上での場所の管理等)を農地一筆単位で利用可能となる。
- ⇒他の農地関連の台帳においても同様に、一筆毎の地名・地番情報はあるが緯度・経度情報がないケースが多い。

このため、衛星データ等の活用による現地確認の効率化や、面的な営農・農地管理等、農地情報と位置情報を組み合わせて活用する場合には、農地の地番の表記を農地台帳に合わせることで、eMAFF農地ナビデータを通じて緯度・経度情報を利用することが可能になる。

**農地台帳** (一般的に、緯度・経度情報がなく、農地位置が確認できない。)

地目	面積	地番
田	2,000㎡	〇〇市△△町××123番
田	1,500㎡	〇〇市△△町××123の2
畑	3,000㎡	〇〇市△△町××199番

**不動産登記簿等の地番・緯度経度情報**

地番	緯度	経度
〇〇市△△町××123番	35.6XX...	139.9XX..
〇〇市△△町××123の2	35.8XX...	140.0XX..
〇〇市△△町××199番	35.6XX...	139.9XX..

+

↓

eMAFF地図システムにより、地番をキーにして  
緯度・経度情報を農地ごとにひも付け

**eMAFF地図によるひも付け後** (緯度・経度情報があり、農地位置が確認できる。)

地目	面積	地番	緯度	経度
田	2,000㎡	〇〇市△△町××123番	35.6XX...	139.9XX..
田	1,500㎡	〇〇市△△町××123の2	35.8XX...	140.0XX..
畑	3,000㎡	〇〇市△△町××199番	35.6XX...	139.9XX..

**ほかの農地関連の台帳等**  
(一般的に、各農地の地番と緯度経度情報とひも付けをしていない。)

地目	面積	地番
田	2,000㎡	〇〇市△△町大字××字... ××123の2
田	1,500㎡	〇〇市△△町〇〇宅の裏 ××123の2
畑	3,000㎡	〇〇市△△町〇〇畑 ××199番

ダウンロード  
(農地台帳と地名地番表記が合えば  
そのまま緯度・経度情報を利用可)

地目	面積	地番	緯度	経度
田	2,000㎡	〇〇市△△町 ××123の2	35.6XX...	139.9XX..
田	1,500㎡	〇〇市△△町 ××123の2	35.8XX...	140.0XX..
畑	3,000㎡	〇〇市△△町 ××199番	35.6XX...	139.9XX..

(※)地籍調査の進捗状況等により、農地ナビ上に一部表示されない農地がある。農地台帳と位置情報のひも付け率は、全国平均で81%